



みさき

34号

美咲町議会だより

主な内容

- 第2回議会報告会 2~3
- 24年度決算認定特別委員会報告 8~9
- 議員14人が町の施政を問う 12~25
- 各常任委員会が視察研修を報告 26~27

報告会を開催

平成25年8月20日～22日

議長

めぐろ



貝阿彌 幸善

美咲町議会基本条例に基づき、第2回美咲町議会報告会を町内5会場で開催いたしました。

皆様方からのご意見、ご要望につきまして、ご要望につきましては、議会として執行部に伝え、速やかな対応を要請しました。

議会としても、今後の町行政にどのように取り扱われるか委員会や一般質問などで執行部と議論していきます。各会場で頂いたご意見の一部を紹介します。

「」意見Q&A

〈旭町民センター〉

(参加者45人)

Q 富田教育福祉振興基金の残額は、

今後の活用方法はどのように考えているのか。

A 基金残高は3,266万円。今後の活用は審議会で検討されます。

Q 県道・町道など旭地域の道路は他地域の道路に比べて非常に狭い。今後の対策は。

A 国道・県道整備促進期成会で国に予算要望を行って、時間はかかるが順次整備していきます。

Q 明日香カントリーの跡地に計画されている養鶏場の説明会はいつ行われるのか。

A 水が確保できれば説明会が開かれる予定だが、早期開催

を神戸物産に要請していきます。

Q 北地区の公会堂は屋根の塗り替えが必要だが、多額の費用がかかる。集会所の整備に対する町の対応強化の検討を願いたい。

A 議会としても現状を理解して執行部に要請していきます。

〈美咲町役場 第2分庁舎〉

(参加者23人)

Q 「加美小学校校門」駐車場間道路拡幅「西幸地区排水路改良」「町道原田笠尾線道路拡張」「町道大せん宝珠庵線待避所設置」「町道西幸後線道路拡張」など地区から要望書が提出されている案件について解答を。

A 執行部に確認を取り、速やかな回答を依頼します。

Q 議会基本条例の制定から1年が経過した。成果をどう考えているか。

A 議会の資質向上を目的に条例を制定した。目に見える成果が出せるように取り組みます。

Q 道州制反対の意見書は有意義だった。

A 具体的な説明がないままの道州制は全国議長会でも反対を議決しています。



旭町民センター

Q 協働のまちづくり交付金の中にある道路維持管理費は不公平があるのではないか。

A 高齢化を念頭に入れた対策を一般質問などでも申し入れしているところです。

〈美咲町中央公民館〉

(参加者9人)

Q 打穴小学校跡地利用の現状はどのようになっているのか。

A 開成の園が利用する話があったが、県との協議の結果見送

美咲町議会



美咲町役場第2分庁舎

Q

空き家が放置され荒れている。も

〔柵原文化センター〕

(参加者43人)

A

地域の歴史を見つめ直し、地域と行政と議会が協力できる体制づくりに努めます。

Q

地域でも住民の安全・安心に向けた事業を行っている。多様な視点を持つて事業を進めてほしい。

A

空き家管理条例で対応しているが、個人情報保護の観点から難しい状況があります。

Q

農協飯岡支所が閉店。各地区で店舗の廃業が進んでいる。地域の凋落は目に見える。地域おこし協力隊など他市に見習った有効な活性化策を考えるべき。

A

協働のまちづくりだけではカバー

A

できない部分について、皆さんの知恵を頂きながら地域おこしにつなげていきたいと考えます。

Q

中学一年生対象の学力テストは最下位。今後の対応は。

A

教育委員会・学校も対策を図り議会も提案し、保護者の皆さんにも協力を求めているかなければなりません。

Q

既存の民間交通網との連携を図ることで広域交通網の効率化を。

A

周辺市町とも連携しながら効率化の検討を行っている。住民の利便性向上を第一に協議をすすめていきます。

〔北和気コミュニティセンター〕

(参加者11人)

Q

自主財源21%で職員の人件費も賄えない状態で、町民へ

A

こんなに補助金を出しても良いのか。限られた財源のは当然図っていかねればなりません。

Q

まちづくり交付金など末端に来る部分はもっと増やしてほしい。

A

区長協議会などの中で十分な議論が尽くされるべき課題であります。

Q

議員定数見直しの方向性は出ているのか。

A

議会改革特別委員会です議論を進めています。

Q

みさきネットが完全普及したときには多目的利用が叫ばれていた。独居老人のバイタルチェックなどワンストップ上げた利用を考えていく時期ではないか。

A

技術的に可能かどうかを確認した上での判断となりますが、有効利用については積極的に進めるべく検討していきます。



柵原文化センター

9月定例会の報告

9月10日から
9月27日まで

定例会が招集され、25年度一般会計など補正予算25件、条例3件、24年度決算、報告2件、請願・陳情・要望8件の議案が上程された。

補正予算

一般会計へ

6億8,900万円

の増額を可決

一般会計歳入歳出に6億8,901万円を増額して総額を112億1,595万円とし、23特別会計歳入歳出に合計2億6,043万円を増額するもの。
一般会計、23特別会計ともに全会一致で可決、承認。

◎一般会計補正予算

【主な歳入】

☆地方交付税

3億5,445万円

☆繰入金

△4億円

☆繰越金

7億3,340万円

【主な歳出】

★基金積立金

2億9,000万円

★道路新設改良費

5,565万円

★加美小学校改修費

1,700万円

★公債費

1億3,011万円

★災害復旧事業費

4,020万円

◎特別会計補正予算

※国民健康保険事業特別会計など23特別会計については、繰越金の確定などによる事業費の調整

請願・

陳情・要望

敬称は省略させていただきます。

消費税の複税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願

（紹介議員・山本宏治）
〔総務常任委員会付託〕

岡山県朝日会

会長 村上英之

消費増税が確定していない段階では判断が難しく賛成多数で
※趣旨採択とした。

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはか

組合長 最上 忠
農業をはじめとした地域産業を守るためには明確な交渉方針の制定は重要であり、全会一致で採択とした。

自然・環境学習の体験・研修の場所の整備、竹を資源として活用、耕作放棄の棚田を有効活用することの陳情

〔産業建設常任委員会付託〕
千年の森作りグループ
代表 浦島文男
グループの活動に敬意を表し、全会一致で
※趣旨採択とした。

国・県に対して『私学助成の拡充を求める意見書』の提出を要請する陳情

〔民生教育常任委員会付託〕
私学への支援、配慮は十分行っており全会一致で不採択とした。

〔民生教育常任委員会付託〕
「産業建設常任委員会付託」
津山農業協同組合

「社会の支え手」を
実践するシルバー人材センターへの支援の要望

〔民生教育常任委員会付託〕
今後も、会員皆さんの知恵と経験を生かしていただきたく全会一致で趣旨採択とした。

平成25年度および平成26年度理科教育設備整備等に関する要望

〔民生教育常任委員会付託〕
理科教育振興法など、今一度調査・研究したいため継続審査とした。

※趣旨採択とは、趣旨に賛同すること
※採択とは、具体化させるために働きかけること

討論

消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願に対する討論

反対討論

松田英二議員

消費税の増税に際しては弱者、低所得者に対する配慮が重要。しかし、現段階においてその議論は行われていない。

弱者対策の議論を活発化させる意味において、この請願を採択した上で国に対して意見書を送付するべきである。

賛成討論

三船勝之議員

平成26年4月から8%への消費税増税が予定されているが、まだ確定したものではありません。

い。また、法人税引き下げの話にもわかに浮上しており、もう少し状況を見守る必要があるため趣旨採択に賛成する。

■採決の結果、賛成多数で趣旨採択とした。

林田議員	賛成
小林議員	賛成
左居議員	賛成
片山議員	賛成
延原議員	賛成
形井議員	賛成
松田議員	反対
岩野議員	反対
金谷議員	反対
江原議員	賛成
三船議員	賛成
松島議員	賛成
下山議員	賛成
山本議員	退席
岡田議員	賛成

※山本議員は、請願の提出者のため退席

議員発議

TPP交渉に

関する意見書

TPP交渉への参加は、農業をはじめとした地域産業、食の安心安全、医療、保険などを衰退させ国の根幹を揺るがす恐れがある。政府の交渉方針を明確に示し、脱退も辞さない毅然とした対応を図るべきである。

この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

柵原吉井英田

火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)

10月21日、定例会を開催し、24年度決算認定、25年度一般会計補正予算97万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護

老人ホーム組合

(吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)

10月21日、定例会を開催し、24年度決算認定、25年度一般会計補正予算2,326万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域

衛生処理組合

(津山市、鏡野、美咲町)

10月23日、定例会を開催し、議長に岡田氏(津山市)、副議長に長石氏(鏡野町)、監査委員に山本氏(美咲町)を選任した。24年度決

算認定、25年度一般会計補正予算1,355万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域

西部衛生施設組合

(津山市、鏡野、美咲町)

10月23日、定例会を開催し、議長に左居氏(美咲町)、副議長に沖田氏(鏡野町)、監査委員に岡安氏(津山市)を選任した。24年度決算認定、25年度一般会計補正予算867万円の2議案を審議、全会一致で可決した。

勝英衛生施設組合

(美作市、西栗倉村、勝央・奈義・美咲町)

10月30日、定例会を開催し、議長に萬代氏(美作市)、副議長に日笠氏(勝央町)、監査委員に下山氏(美咲町)を選任した。24年度決算認定、25年度一般会計補正予算745万円の2議案を審議、全会一致で可決した。

総務常任委員会報告

交通弱者への

対策事業費に750万円

総務常任委員会に付託を受けた予算9件、条例3件、請願1件、陳情1件について審議した結果、予算・条例は承認、請願は趣旨採択、陳情は継続審査とした。

○町有バス車庫の建設場所について、配置を再検討すべきである。

○補正予算説明書の内容が不十分。今後は明瞭な説明内容を求める。

○町有バス車庫の建設場所について、配置を再検討すべきである。

なお、次の項目につ



バス車庫の位置は適当か？

■主な質疑応答

【総務課】

問 消防機庫の下水道接続は早急に進めるべきではないか。

答 予算が確保できれば早期に整備したい。

【企画財政課】

問 駐輪場整備費250万円は何をするのか。

答 現在の駐輪場に幅9mの屋根を増設する。

【情報交通課】

問 地域公共交通事業費750万円の

内容は。

答 今回交通弱者が多い旭地域限定で試行する。

西川タクシー(株)と契約し、通院・買い物などのタクシー利用に片道1,000円の個人負担で利用できる。

◇現地を確認

議案審議に関連して
 ☆亀の甲駅前消防施設建設予定地(原田)
 ☆自転車駐輪場(原田)
 ☆町有バス車庫建設予定地(緑花公園)を視察

民生教育常任委員会報告

加美小学校

グラウンド整備に

1,700万円

民生教育常任委員会に付託を受けた予算7件、請願1件、陳情1件、要望2件について

審議した結果、予算は承認、請願は趣旨採択、陳情は不採択、要望1件は趣旨採択、1件は

継続審査とした。

なお、次の項目について意見を付した。

○法然上人の母を顕彰する公園の用地買収費は認めるが、今後の整備費は極力交付金・補助金を財源とし、整備後は地元管理とすること。

■主な質疑応答

【健康増進課】

問 視察した長野県松川町のように、

消防団員の健診を本町でも行うべきだと考えているが。

答 若い頃からの健康意識にもつながるので、検討したい。

【住民課】

問 留町奨励金は、新卒後、アルバイトの人でも申請できるように検討してほしい。

答 自営業は申請できるが、アルバイトは確認がとりにくく難しい。



必要に迫られる町営住宅の改修

【教育総務課】

問 改築する加美小学校のプールの詳細は。

答 現在設計中で、当初25メートル・5コースの予定であったが、6コースにした。素材は、FRP製にする。

これに関連してグラウンド整備費1,700万円を計上した。

【生涯学習課】

問 錦織地内の公園の詳細は。

答 地元からの要望があり、法然上人

の母、秦氏の君を顕彰する公園整備のためのもので、用地買収および建物の解体撤去費である。

◇現地を確認

議案審議に関連して☆上町住宅（原田）および錦織第2住宅の修繕箇所☆錦織地内の顕彰公園予定地を視察

※FRP：強度の面などで大変優れているプラスチック

産業建設常任委員会報告 災害復旧事業費 4,000万円を計上

産業建設常任委員会に付託を受けた予算11件、陳情2件について審議した結果、予算は承認、陳情1件は採択、1件は趣旨採択とした。

なお、次の項目について意見を付した。
○近年の異常気象は脅威である。大雨による災害防止策の検討と被災者支援策の強

化を図ること。

■主な質疑応答

【上下水道環境課】

問 下水道計画の区域外に家が新築された場合、下水道整備はどうするのか。

答 汚水管を延長させて宅内まで迎えに行くことになる。

【産業観光課】

問 亀甲駅舎、鉾山公園、三休公園の修繕費が計上されている。全て指定管理に委託されているはずだが。

答 基本的に修繕費用が10万円を超え



TPPの議論を深める委員会

るものは町が負担する。

【建設課】

問 今年度発生した災害の件数と復旧金額はどのくらいになるのか。

答 現在の概算では、公共施設が60件で1億2,251万円、農林関係が93件で9,390万円と見込んでいる。

◇参考人招致

議案審議に関連して☆TPP交渉に関して津山農協組合長最上忠氏を招致した。

全国の議会視察が美咲町へ

11市町村議会議員81人が 視察で続々来町

本年6月13日にNHKの情報番組「あさイチ」で美咲町が取り上げられて以降、全国から注目を浴び、11の市町村議会よりまちづくりに関する視察・研修に延べ81人の議会関係者が来町された。

- 長野県松川町議会
 - 長野県坂城町議会
 - 徳島県神山町議会
 - 宮城県七ヶ浜町議会
 - 鹿児島県喜界町議会
 - 和歌山県海南市議会
 - 群馬県大泉町議会
 - 宮城県加美町議会
- 活発な意見が交わされると共に、美咲町の政策を全国にアピールできる良い機会となった。
- 宮崎県日南市議会



真剣に聞き入る視察団

徐々に改善するも 厳しさ変わらず

歳入120億9,664万円 (23年度比5.3%の減)

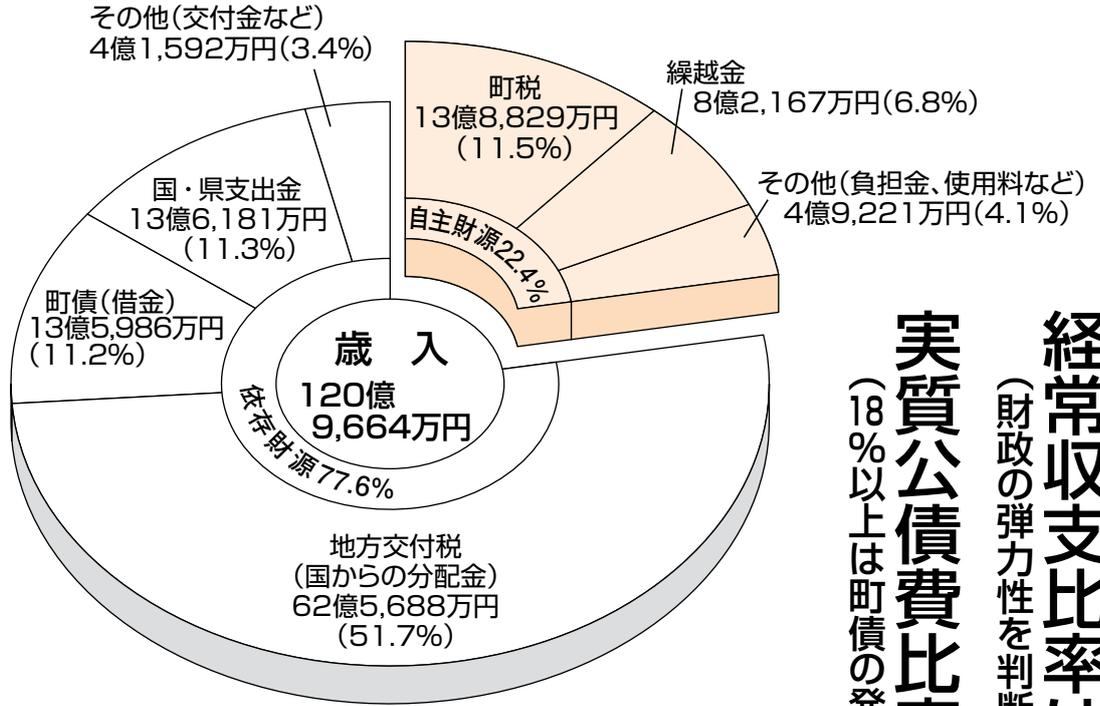
自主財源は約27億円 借金の返済に約24億円

24年度歳入歳出決算報告

一般会計決算

不納欠損額 777万円
 (死亡などにより集金が不可能になったもの)

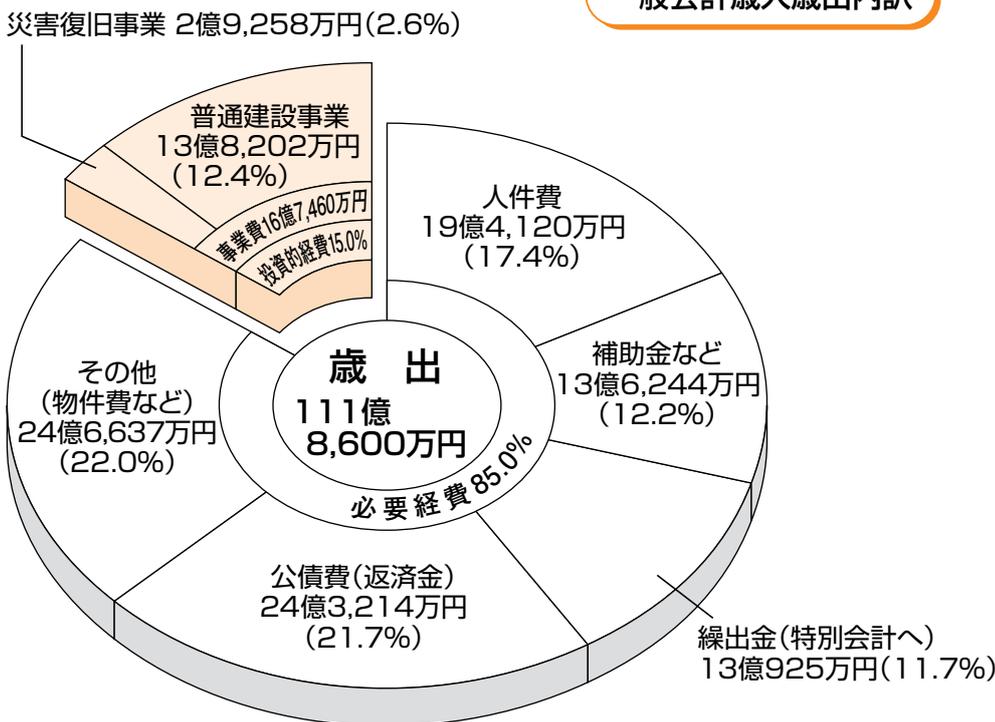
収入未済額 1億2,563万円
 (集金が遅れているもの)



経常収支比率は81・8%
 (財政の弾力性を判断する指数 75〜80%が健全とされる)

実質公債費比率は16・8%
 (18%以上は町債の発行に県の許可が必要)

一般会計歳入歳出内訳



実質収支は8億余の黒字決算

決算認定特別委員会報告

執行部から提出された決算事務報告書を基に平成24年度の事業内容、予算執行状況などを審査した。

一般会計と25特別会計の概要は図表のとおりである。

財政全般の節減合理化などにより一般会計の実質収支は8億4,590万円の黒字決算となった。

委員会の指摘事項

◇行政組織の機構改革による事業の効率化および人材育成

◇美咲町振興計画書の早期策定

◇町税などの徴収率向上と不能欠損の減少

◇地域福祉、医療体制の拡充

◇不用予算の必要事業への振り替え

◇農業振興策の事業効果向上

◇本庁と総合支所の連携強化

◇小・中学校児童・生徒

の学力向上

◇指定管理の円滑な推進

◇特別会計基金状況の周知

◇特別会計に対する一般会計繰入金の減少

◇みさきネット加入率の向上

◇下水道接続率および水道有収水率の向上

などである。

地方債残高は160億6,500万円に減少、基金残高は58億3,600万円に増加。実質公債費

比率も16・8%と改善されつつあるが、これらは合併特例法の財源措置によるところが大きい。

経常収支比率は依然として80%を超えており、今後の財政運営はより厳しさを増すことが予測される。

自主財源の確保、経費節減に努めながら計画性のある町政運営を求め24年度決算を全会一致で承認した。

24年度 25特別会計決算の内訳

	特別会計内訳	歳入額	歳出額	歳入決算総額	歳出決算総額
貸付事業	住宅新築資金等貸付事業	994万円	3,833万円		
バス運行事業	津山・柵原線共同バス運行事業	1,414万円	1,361万円		
	津山・西川線共同バス運行事業	1,602万円	1,552万円		
	旭川ダム沿線バス運行事業	3,159万円	3,054万円		
保険事業	国民健康保険事業	19億7,050万円	18億7,458万円		
	介護保険事業	21億5,639万円	21億3,958万円		
	介護サービス事業	1,119万円	1,119万円		
	久米郡介護認定審査事業	896万円	867万円		
	国民健康保険診療所事業	683万円	640万円		
	久米郡障害程度区分認定審査事業	120万円	119万円		
	後期高齢者医療	2億797万円	2億623万円		
水道事業	柵原飯岡簡易水道事業	2,303万円	1,275万円		
	柵原北部簡易水道事業	1億4,775万円	1億4,078万円		
	柵原中央簡易水道事業	7,570万円	5,811万円		
	統合簡易水道事業	1億8,016万円	1億7,463万円		
	中央簡易水道事業	1億7,027万円	1億6,451万円		
	中央北部簡易水道事業	2,419万円	1,808万円		
	中央打穴・大井和簡易水道事業	8,679万円	7,987万円		
	下水道事業	1億5,786万円	1億4,858万円		
	柵原公共下水道事業	3億68万円	2億7,220万円		
その他	中央公共下水道事業	4億8,041万円	4億5,485万円		
	みさきネット事業	1億9,771万円	1億9,009万円		
	土地開発事業	1,177万円	1,108万円		
	用地取得造成事業	3,666万円	1,070万円		
	倭文西財産区	25万円	0万円		

議会費あれこれ

平成24年度の議会管理費支出額は1億1,059万6,773円で、一般会計決算額に対する割合は0・98%となりました。主な項目は表のとおり。

【議会費】

項目	金額
議員人件費	6,155万9,574円
一般職員人件費	1,227万5,602円
経常管理費	418万8,688円 (議長交際費11万7,750円含む)
各種負担金(退職議員の年金など)	3,257万2,909円
合計	1億1,059万6,773円

【議会活動日数】

各議員が一年間に公務で活動した日数をまとめてみました。

議長	257日(町外・県外・国外を含む)
副議長	124日(町外・県外・国外を含む)
議員(14名)	平均103日(町外・県外・国外を含む)

各議員によって異なりますが、表記の数字に各地域行事への参加日数が加算されることとなります。

【議員報酬】

議員が受け取る月額報酬は次のようになっています。

議長	副議長	常任委員長	議員
31万5,000円	26万2,000円	24万6,000円	24万円

※表記の報酬に加えて期末手当を6月に1.45カ月分と12月に1.65カ月分支給しています。

※議会だより編集委員6人には年額4万円(委員長は5万円)を支給しています。

※議会選出の監査委員1人には、出頭日数×7,400円を支給しています。

※各組合議会開催時には費用弁償を支給しています。

◆他の市町村議会が支給している政務調査費・委員会手当などは支給していません。

【議員年金は廃止】

国会議員の年金制度廃止に伴い、平成23年6月1日より「地方議員年金制度」も廃止されました。(ただし、受給資格者は年金受給か一時金受給かを選択することができます。)

【退職金】

従来から議員には「退職金」はありません。

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

町政を問う

議員名	掲載ページ	質問内容
片山 剛	12ページ	1. 柵原東小学校への歩道はいつできる 2. 商品券を町外でも使えるようにできないか 3. 中学生の携帯電話に不安はないか
小林 達夫	13ページ	1. 安全な通学、通勤方法の確保を 2. 高齢者へは積極的な戸別訪問を
下山 和由	14ページ	1. 振興計画書の策定を早急に 2. 借地料の軽減にさらなる努力を 3. 今以上の町道改修、改良を
延原 正憲	15ページ	1. 老朽危険家屋に早急な対策を 2. ふるさと納税で税込増加を 3. ご当地ナンバーで地域活性化を
山本 宏治	16ページ	1. 災害警報の告知方法を考案せよ 2. 国保税の納付回数は現状で良いのか 3. 地元との連携を密に
左居 喜次	17ページ	1. 町道維持管理の対策を再度問う 2. 消防団員の健康教育はできないか 3. あいさつで活力あるまちづくりができないか
三船 勝之	18ページ	1. あらゆる施策で農業のピンチを救え 2. 国の方針への不安解消を
金谷 高子	19ページ	1. 障がいの早期発見に5歳児健診を 2. がん教育の推進を 3. 耕作放棄地の解消、再生を
形井 圓	20ページ	1. 被災者支援策の見直しを 2. 街灯設置で安全に 3. 職員の適正な人事評価は 4. 二重の報酬ではないか ※この他に「美咲町振興計画」「転入された人への支援」の質問が行われました
岩野 正則	21ページ	1. 住宅のための政策を 2. 空き家管理条例の成果は 3. 起業者・新規就農者の育成策は 4. 新婚向け賃貸住宅家賃補助金の拡充を
松田 英二	22ページ	1. 総合的な雨水排水対策計画が必要
林田 実	23ページ	1. 協働のまちづくり交付金の見直しは
松島 啓	24ページ	1. がけ地崩壊対策で災害の未然防止を 2. 学力向上の対策は 3. 町のスポーツ振興計画は
岡田 壽	25ページ	1. 本気で結婚推進事業の展開は 2. ピオーネ輸出事業の方針はどう立てる 3. 方言を伝えていこう

質問

柵原東小学校への
歩道はいつできる

地権者の了解が
得られれば前進

答弁



片山 剛 議員

問

柵原東小学校開校当時から書副地区、行信地区の町道に歩道の設置を要望している。しかし、まだ設置されていないのが現状だ。

PTAからも要望書が提出されていると思うが、今後どう対応するのか。

答

國宗柵原総合支所産業建設課長 町道書副行信線へは地区からの要望により一部歩道を設置している。また、路肩コンク



私たちが大人になる頃、歩道はできているのだろうか？

リートを利用して歩行者の通路を確保している。

今後は、外側線などの引き替え、減速破線の施工などによって安全対策を行う。

問

冬季には降雪によって道路が凍結し山に囲まれた通学路は危険な状態が長く続くことになる。通学路

の安全には樹木伐採も必要である。

答

定本町長 子どもが片道10人以上行き来する道路は通学路になる。書副地区は現在、子どもが16人通学しているため歩道の設置は可能だ。歩道設置も樹木伐採も地権者と十分話しをして前向きに取り組む。

商品券を町外でも使えるようにできないか

問

敬老の日のお祝いとして久米郡商工会の商品券が支給されている。だが、近隣には使える商店が少ない。

答

近隣市町の商店でも使用できるように交渉することはできないか。木谷保健福祉課長 商品券「かけはし」は、商工会に加盟する地元商店の育成と地域活性化を目的とした地域商品券である。このため他地域で使用することはできない。

中学生の携帯電話に不安はないか

問

中学生が携帯電話を使用する場合、学校の対応はどのようになっているのか。

答

泉教育長 学校への携帯電話

話持込は原則として禁止している。ただし、部活などで遅くなる時、親と連絡する時などに使用する場合は朝担任の先生に預けることにしている。

問

携帯電話を持つことによる「いじめ」や学力低下の心配はないのか。

答

泉教育長 現時点においてそうした報告は受けていない。

今はやりのLINEなどの影響も現実のものとして受け止めているため携帯電話の正しい使い方などの講習会を進めており、保護者の協力を頂きながらモラルの指導に努めていく。

※LINE：携帯電話やパソコンを使いインターネット電話やメールによりリアルタイムでコミュニケーションができるもの。「無料通話」と宣伝されている。

質問

安全な通学

通勤方法の確保を

県と共に必要な

対策を検討する

答弁



小林達夫 議員

問

津山柵原線の塚角―大戸間の工事では片側通行になると考えられる。歩道がない上に、大型車の通行も多い区間である。通学時間と通勤時間が重なり、大変危険である。県道ではあるが、町として町民の安全に対する責任はないのか。

答

國宗柵原総合支所 産業建設課長

詳細な測量設計が終了後、平成26年度から工事着手する予定で進んでいる。歩行者や自

転車への安全対策として、専用通路の確保を県に強く要望する。

問

道幅が大変狭いが、どのような仮設道を設置するのか。

答

國宗柵原総合支所 産業建設課長

路肩部分が少ないことは県も町も承知している。県と協議を重ね仮設道の確保を要望していきたい。

問

工事期間中だけでなく、スクールバスでの通学はできないか。

答

泉教育長

工事の進捗状況、歩道の設置状況など総合的に判断し、必要であればその時点で前向きに検討したい。

高齢者へは

積極的な

戸別訪問を

問

介護保険の申請などについて、連絡があれば戸別訪問での対応が可能であるこ



ここに来れば楽しいな (デイサービスセンター)

とを高齢者に伝えたと「来てもらうのは気の毒だ」「動けなくなつたらたのむ」という遠慮がちな反応であったが、どう考えるか。安心して住めない高齢者がいる中で、住んで良かった美咲町になっていくのか。

問

木谷保健福祉課長

介護申請の手続きはまだ浸透していないが、介護保険施設での申請代行や、地域包括支援センターからの訪問もしている。

答

また、サロン活動や

コロナ体操の時に、制度や申請の説明もしており、いろいろな機会に啓発に努めている。

問

手続きなどの説明以外に、実際の生活状況を見て、時期を逃さない適切なアド

バイスがができる機会となるため、戸別訪問が重要と考える。

問

長野県松川町では、

答

少ない職員数だが、町民優先で戸別訪問を頑張っている。本町の職員はやる気があるのか。

問

定本町長

答

地域の人々の情報が地域包括支援センターへ入るような情報網を作っていきたい。

問

元気なうちに介護保険などの説明をし、予防をしていかないと、いざ必要になってからでは遅い。介護保険料を徴収している以上、わかりやすい説明、戸別訪問は必要であり、実行すべきと思うがどうか。

答

村島健康増進課長

現状で全戸訪問は難しいが、情報が入り次第、訪問することは可能である。地域の情報がすぐ入り、タイムリーな対応ができるよう努力したい。

質問

振興計画書の
策定を早急に

今年度中には

完了させる

答弁



下山和由 議員

問

美咲町振興計画は平成18年に策定されて以来7年を迎えている。現在は町長も代わり、新たな計画を加えた振興計画を町民に示すべきと考えるがどうか。

答

遠藤企画財政課長 現在、策定中である。できれば12月定例会で議決を経て印刷に入りたい。

答

定本町長 振興計画審議会です十分な審議の上、作り上げていきたい。

借地料の軽減に
さらなる努力を

問

平成19年、有料の借地に関する資料提供を求めて以来6年が経過する。借地料軽減に対する今後の対策は。

答

遠藤企画財政課長 借地については、左の表のとおり。

	中央	旭	柵原	合計 件数	総 額
H19年度	11	4	57	72	1,372万3千円
H24年度	11	4	49	64	1,253万4千円

答

多額の借地料を支払っている現状はあまり変わっていない。

定本町長

大きなものが学校敷地である。学校敷地を全部購入すると莫大な費用がかかる。これまで購入が難しかったと推察する中で今に至っている。

大変難しい問題であるが、購入可能な土地、返還可能な土地については精査していきたい。

今以上の町道
改修、改良を

問

町道の改修、改良については8月開催の議会報告会でも強い要望が出た。本町には、まだ県道と併用して道幅が狭く、交通の難所となっている地域もある。厳しい予算の中ではあるが、地区の要望に添えるよう計画性を持って対応を。

答

矢木建設課長 改良事業として



早急な改良が待たれる町道

答

定本町長

要するものについては、対応していきたい。

は、国庫事業、社会資本整備事業、辺地事業、過疎事業などで各地区取り組んでいる。また、町単独事業としては、地域の要望書に基づき検討を加えて企画財政課とも協議しながら進めている。今後についても、緊急を判断して対応していく。

老朽危険家屋に 早急な対策を 条例に基づき 対処していく



延原正憲 議員

問

昨年施行された「美咲町空き家等の適正管理に関する条例」で規定する「倒壊するおそれのある危険な状態」「火災もしくは犯罪が誘発されるおそれのある状態」にある管理不全な空き家として認定し、助言・指導・勧告を行い、措置命令を発令し、さらには氏名等の公表を行った実績はあるのか。

また、老朽危険家屋の処理促進のため、除却費用の一部を補助したり、行政代執行で町が撤去を実施したうえでその経費を請求する制度を導入してはどうか。

答

遠藤企画財政課長 この条例に該当する管理不全な空き家



もうこれ以上 建ってられないよ

については、24年度に4件、25年度は2件の情報提供があった。このうち1件について助言・指導の措置が必要と考えている。また1件については調査の段階である。

措置命令や氏名公表の実績はない。

補助金など制度の導入については、行政代執行では資金の回収が困難となる危険性があり、国の補助制度も調

査しなければ即答できない。

問

町内には老朽危険な家屋がたった6件しかないことはない。まだまだある。

安心・安全な美咲町とするため、条例に基づき積極的な対応を強く求める。

答

定本町長 空き家であつても個人の財産であり、愛着を持っている人もいる。近所に迷惑をか

けるような状況となつている危険な家屋については、条例により対処する。

ふるさと納税で 税収増加を

問

ふるさと納税制度が導入されて5年になる。これまでの実績は。

この制度を活用し積極的に増収対策を行う予定は。

答

難波総務課長 実績は、左表のとおり。

年 度	20	21	22	23	24
件数 (件)	0	2	1	6	3
金額 (万円)	0	6	5	36	8

答

定本町長 ふるさと納税制度については、色々な考え方があがるが、大枠としては、これからでも遅くないのでPRしていきたい。

ご当地ナンバーで 地域活性化を

問

美作建国1300年の機会にご当地ナンバーとして「美作」「作州」「作州武蔵」などを美作地域10市町村に呼びかけて県に要望してはどうか。

答

定本町長 ご当地ナンバー制度が導入され、6月28日に第2回目の発表があったところである。第3回目の募集があることを前提として、関係市町村に話していきたい。

質問

災害警報の告知方法を考案せよ

状況により適切な情報を知らせる

答弁



山本宏治 議員

どについて、自動的に告知放送が流れる仕組みに改良中である。

国保税の納付回数は現状で良いのか

問

国民健康保険税は、現在、毎月納付ではなく1年分を9回で支払っている。そのメリット、デメリットは。

問

また、滞納との因果関係はあるか。

答 鳥越税務課長

6月の前年所得確定の後、決定した国保税額を通知すること、4〜6月の出費が多い時期に納付がないことがメリット。

9回払いの方が12回払いより1回当たりの支払額が多くなることでデメリット。

支払い回数が滞納には影響しないと思うが、納付困難な場合、4〜6月が予備日と考えるとメリットとも言



巨大なカマキリ出現？（三休公園のイベント）

える。

答

定本町長 12回納付は、仮徴収の通知と額が確定した通知をすることになり、わかりにくいので現行のままいきたい。

地元との連携を密に

問

美作国13000年記念イベントとして、三休公園にカブトムシや蜂の巣など巨大でリアルなオブジェ

答

山本産業観光課長 具体的に決めていない。

問

地元や旭支所に相談や連絡がなかつたと聞くが、軽視しているのではないか。

答

岡部副町長 細かいところまで連携できておらず、今後は密にするよう肝に銘じる。

問

集中豪雨、ゲリラ豪雨と異常気象が多発している。最近では、竜巻まで起こり、

これまで考えられなかった自然災害が多発している。テレビなどで警報、注意報を目にするのが、告知放送端末やメール配信による災害警報の告知ができないか。

また、特別警報とは何か。

答

難波総務課長 携帯電話やパソコン向けの気象情報

は、岡山県の防災情報メールを利用してほしい。

特別警報とは、気象災害、水害、地盤災害、地震、噴火などの重大な災害が起こる恐れが著しく大きい場合、氣象庁が警告のために発する予報である。

答

鈴鹿情報交通課長 告知放送は、情報発信の手段として設置しているので、活用してもらえばよい。

答

定本町長 警報の段階や時間帯、地元の状況を考え合わせながら告知放送を使っていきたい。

また、総務省から発表される緊急地震速報や弾道ミサイル情報な

町道維持管理の 対策を再度問う

各課連携しながら 対策を考える

答弁



左居喜次 議員

問

各地区で行っている町道などの維持管理作業が、管理の頻度・内容・労力の状況など地区により差が生じている。

各地区の体制把握と、今後作業ができない地区が増えてくるとを予測し、各課連携し対策を講じてはどうか。

答

矢木建設課長

町内集落ごとの道路の状況はある程度把握できているが、体制の集計は行っていない。

水路の土砂上げ、崩土の除去等、地域で行えないものは各地区の区長・常会長からの行政相談で出てきた要望を中心に対応している。また、交付金により



「みなさん健康ですか」「よし!!」

問

現在、消防団では19歳から61歳ま

消防団員の
健康教育は
できないか

道路管理ができる場合もあるのですが、各課で連携しながら今後の維持管理の方針について検討策を考えていきたい。

で902人の団員が在籍しており、平均年齢は39歳である。消防団員に若い頃から健康への関心を持ち、意識を高めるために、また、福利厚生事業として集団検診、併せて健康教育はできないか。

答

定本町長

社会保険加入者は事業所で、国保の加入者は町で健診を行っている。若い人に健康に関心を持ってもらうことは重要だが、いろんな組織があり、消防団員のみ健診を無料にするのは難しい。

答

村島健康増進課長

会合の前後の時間がもらえれば、積極的に健康教育をすることも可能だ。健診も大事だが、結果を読み取りどうしていくかが大事である。技術的なところは一緒にできると考えている。

問

簡単な検査、血圧測定など、できるところからやれば良い。

団員が家庭で、また友人との間で健康増進に話が進み、良い影響が出てくるのではない

答

定本町長

今後、各担当課

と打ち合わせをし、できることはやっていく。

あいさつで
活力ある

町づくりが
できないか

問

町民みんなが気持ちのいいあいさつを交わすことで、町長が提唱する人づくり、地域づくり、健康づくりなどすべてにつながる。

啓発の標語・ポスターなど募集はできないか。

答

定本町長

教育振興計画に、あいさつ運動が一つの柱に位置づけられている。

活力ある元気な美咲町づくりのために、あいさつも大事である。

また、啓発の標語・ポスター募集については、あいさつ運動を深く進めていくために取り組んでいきたい。

質問

あらゆる施策で
農業のピンチを救え

調査、検討しながら
進める
答弁



三船勝之 議員

へ10年以上の白紙委任が必要。今後、農地の集積範囲などを集落の代表者を交えて検討する。

プランの策定状況は12集落が認定集落である。

新規就農者の希望があれば協議すると畜産センターから回答があった。農地については確認していない。

農業を守っていくためには、鳥獣被害対策が不可欠である。今後の対策は。

問 高齢化による担い手不足で農業はピンチである。農地の問題を一体的に解決する必要がある。農業公社と役場が連携しながら農地の集積化を図り、農地集積協力金の補助金を受けるべきと考えるがどうか。

答 農地を荒廃から守るため、担い手不足の解消のために畦畔のコンクリート舗装が有効と考えるが、補助金を出す考えはあるか。

問 厚生労働省は、平成29年度中には要支援1および2の人を介護保険から外し、自治体にゆだねるとの方針を出したが、本町の対応は。



手間が省ける防草コンクリート

問 県総合畜産センターの職員寮に空きがある。寮と町有地をセットにして、ぶどう栽培希望者など募集すれば、農業振興に利用できると思うがどうか。

答 農地や畦畔の面積などを試算し、検討したい。

問 国の方針への不安解消を

要支援1および2の合計認定者数は4月1日現在280人、8月末現在303人で増加している。

答 要支援1および2の認定者が介護保険からはずれた場合、現在の経費は全て町費で賄うのか。

問 山本産業観光課長 ほかにも分散錯

答 山本産業観光課長 畜産センターの寮は3棟空いている。農業振興を目的とした

問 木谷保健福祉課長 国の方針を

要支援1および2の合計認定者数は4月1日現在280人、8月末現在303人で増加している。

答 要支援1および2の認定者が介護保険からはずれた場合、現在の経費は全て町費で賄うのか。

図解消協力金(連垣協力金)があるが、いずれも農業公社や農協

また、人・農地プランの策定状況は。

答 木谷保健福祉課長 国の方針を

要支援1および2の合計認定者数は4月1日現在280人、8月末現在303人で増加している。

答 要支援1および2の認定者が介護保険からはずれた場合、現在の経費は全て町費で賄うのか。

障がいの早期発見に 5歳児健診を 適正支援に向け 努力していく

答弁



金谷高子 議員

問

文部科学省の調査によると、発達障がいの児童は小学校在籍中、知的発達に遅れはないが、学習面・行動面で著しい困難を示すとある。注意欠陥・多動性障がい、高機能自閉症やアスペルガー症候群などは、3歳児健診では発見されにくいと言われている。

5歳児健診に対する町の考えは。

答

村島健康増進課長

5歳児健診としては行っていないが、臨床心理士と保健師が定期的に各保育園に出向き、施設支援を行っている。必要な場合は、今後の方向性について協議を行い、個別面談、専門医療機関の紹介も行っていきます。



元気で大きくなってね

がん教育の推進を

問

子どもの頃からのがん教育の重要性が指摘されている。欧米では当たり前のよ

今まで以上に、保育園、教育委員会、医療機関、療育機関と連携を密に努力していきたい。

うに、がんの教育が行われている。日本はがんの検診率も低く、がん教育もまだまだ行われていない。がんは死の病というイメージがあるが、「6割完治」「早期発見なら9割完治」と、がんは恐ろしいものではないと伝え、生きることの

答

泉教育長

小学校は3学年以上での体育の保健領域で、中学校は保健体育の中で、健康、病気に関する学習指導を行っている。生活習慣病、喫煙、飲酒など、がんと非常につながりが深いことは教育している。今後、国や県の動向を踏まえながら研究していききたい。

問

ここ数年、耕作放棄地が増加し、

耕作放棄地の
解消、再生を

深刻化している。有害鳥獣のすみかや不法投棄の温床になっており、農業再生へ支障を来すだけでなく、景観を悪くしている。

①耕作放棄地の現状は。全体の何%の数値目標を設定しているか。

②今までの取り組みは何件か。どのように活用しているか。

③制度が26年3月に終了するが、終了後の対応は。

山本産業観光課長

①農地全体が畦畔を入れて3,000haで、そのうち18%の540haが耕作放棄地である。

②3地区取り組んでおり、2地区は個人で約3反の放棄地を解消し運営している。1地区は地域で取り組み、約6反に景観作物を作っている。

③今後は、人・農地プランの方策として取り組んでいきたい。



形井 圓 議員

質問 被災者支援策の見直しを 担当課との協議が必要

答弁

問 本町には災害により被災された人への支援策として「災害弔慰金及び見舞金」「宅地土砂取り除き補助金」がある。

答 その内容は、家の全壊に2万円、半壊に1万円、宅地土砂取り除きに10万円。

問 金額的に矛盾する内容となっているが、これを見直す考えはないか。

答 定本町長 それぞれの事例に沿った対応を図るための制度の違いがある。見直しについては担当課と相談する。

問 復旧の申請を告知放送で呼びかけてみてはどうか。

答 矢木建設課長 農地災害については、一週間以内に個人から連絡が入るが、告知放送の利用も検討してみたい。

問 クラブ活動などで帰宅が遅くなる中学生は、街灯もない危険な夜道を一人で帰宅することも多い。安全のために、街灯設置は町の責務ではないか。

答 定本町長 要望書が出され、設置した例もある。地元については、防犯灯設置事業補助金交付要綱により対応してほしい。通学路については、教育委員会が対応している。要望があれば出してほしい。

問 職員の人づくりはどのようなか。

答 定本町長 適正な人事評価を行い、やる気のある優秀な職員は年齢に関わらず昇進させ、夢の持てる職場づくりができればいい。

問 町内の保育士86人のうち、正規職員は31人。55人が嘱託職員である。

答 岡部副町長 人材育成は町づくりの基本である。職員には各種研修会に参加させ、管理職についての人事評価も試行している。

問 町内の保育士86人のうち、正規職員は31人。55人が嘱託職員である。

答 定本町長 保育園での生活・教育が子どもたちの人生を作っていると云っても過言ではない。また、小学校へ入学する前の大事な時期でもある。嘱託職員も正規職員と同等の責任があり、昼夜を問わず頑張っている。正規職員の採用検討を。

街灯設置で安全に

職員の適正な人事評価は

二重の報酬ではないか



地域の宝を大切に育てよう

問 複数の市町村で立っている管理者（町長など）に報酬が出ている。町長として報酬を受けながら、組合から報酬を受けるのは二重ではないか。これは職員にも同じことが言える。

答 定本町長 行政実務で一部事務組合の報酬などについては条例で定めることになっており問題ない。

質問

住宅のための政策を

現行の制度を

維持する

答弁



岩野正則 議員

問

宅地災害土砂取り除き補助金の補助対象事業費の補助率2分の1、上限補助金10万円の見直しはできないか。

答

定本町長

現段階では、現状の10万円のままです。

新築家屋については固定資産税の減免、県産材の使用による助

成、太陽光発電設置による助成、町分譲地購入に伴う新築家屋の助成などがある。

空き家管理条例の成果は

問

空き家等の適正管理に関する条例の成果はどうなっているか。

答

遠藤企画財政課長

空き家の適正管理の問い合わせが2件来ている。1件は指導、助言を行いもう1件は調査中。

移住、定住、雇用促進につながる政策は、東京、大阪でブースを開いて相談に応じている。

久米南町などは空き家の改修費用に補助金を出しているが、本町は考えていない。

問

危険家屋、空き家の解体に補助金

を出している自治体もあるが。

答

定本町長

近隣の家に迷惑をかける空き家については助言、指導している。

起業者・新規就農者の育成策は

起業者・新規就農者の育成策は

問

起業者・新規就農者を育て呼び込

む政策を作るプロジェクトチームや産業支援課を設置する考えはないか。

答

定本町長

現在、県から産業支援に向けた職員の出向を受けている。

ニューピオーネをシソ、ニガポール・香港に輸出する足がかりを作り、他の作物も大阪、東京に出荷できるよう



田舎ぐらし 最高です！

に考えている。工業部門については、企業誘致の依頼も行ってはいる。

新婚向け賃貸住宅家賃補助金の拡充を

問

新婚向け賃貸住宅家賃補助金の支給対象は、どちらかが35歳以下の条件が課されるが、これを40歳以下にすることはできないか。

答

高田住民課長

若者定住促進を目的に新婚世帯を対象とした補助金を設けている。

答

定本町長

近年晩婚化が進んでいる。現状に合わせるために平成26年4月から40歳以下を対象とするように改正するように考えている。

質問

総合的な雨水排水
対策計画が必要

地域防災計画の

見直しで対応する

答弁



松田英二 議員

問 近年、ゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨が全国各地で多発し、大きな被害をもたらしている。

本町においても、昨年は中央地域へ時間雨量120mm、今年は旭地域へ約60mmの集中豪雨があり甚大な被害が発生した。こうした状況は今後も頻繁に、広範囲に発生することが予想されることから、早急な対策が求められることになる。

を進めて山の持つ水源涵養能力を強化させることも重要であるが、

本町の山林整備の状況はどうなっているのか。

答 山本産業観光課長 美咲町森林整備

計画を策定し、林班ごとに5年間の森林経営計画を立てている。この中で間伐などの作業を順次進めている現状である。

問 大量の雨水が流れ込むことによつて河川の氾濫、土砂崩れを引き起こす要因となる。

これを防止するためには、道路側溝の拡充、排水路の新設、河川の拡幅および浚渫、堤防道路の嵩上げ、水路の定期的な清掃、さらには道路の排水性舗装などが考えられるがどう対応するのか。

答 矢木建設課長

一つ一つの項目については順次整備する方向で進めている

が、今後施設を整備する時には流末処理まで考えた排水計画を取り入れていきたい。

問 地域の治水安全度を高めるためには、これから見直しが行われる地域防災計画の中心に総合的な雨水対策計画を盛り込むべき必要があるのではないか。

答 定本町長

昨今の気象状況は過去のご概念では通用しなくなっている。

「地域防災計画」の見直し、「町道の構造の技術的基準を定める条例」の見直し、自主防災組織の確立などさまざまな対策を考えながら災害に対処しなければならぬ。

問 国・県に対して雨水排水のための補助制度創設を要望すべきである。

答 定本町長

岡山県町村長会を通じて積極的に発言していく。



ようめげるのお〜

質問

協働のまちづくり
交付金の見直しは

協議しながら

要綱改正を進める

答弁



林田 実 議員

問

協働のまちづくり事業交付金は、住民が主役で元気なまちづくりを推進することを目的としている。交付金の算定には地区の人数が関係する。人口の多い地区ほど手厚い予算となっている部分がある。

合併から8年が経過する中、高齢化が進み、高齢化率50%以上が16地区ある。若い人が少なく、高齢化率の高い地区では、地域づくりさえ困難を極めている。

答

遠藤企画財政課長

日々変化する地域の環境や状況に合うよう、今以上に均衡性が保てる予算配分の見直しはできないか。

町内13協議会の申請により支出する協働のまちづくり事業分と町内81の区自治会に交付する活性化活動事業分が含まれている。21年度に活動事業分を大きく見直し、世帯数に1,800円を掛けた金額を13協議会に配分している。

区長協議会の意見を聞きながら要綱の改正を進めていきたい。

問

議会報告会です。旭地域の道路は大半

を町道が占めている。地域、地区での町道、生活道の維持管理が年々困難になっている。

大井和地区では、高齢化が進み、道路管理が極めて困難になっている。

柵原地域では、地区の奉仕作業に80歳までの参加を義務づけている地区がある。いずれの意見も悲鳴

っており、なんとか行政で管理してもらえないか。

柵原地域では、地区の奉仕作業に80歳までの参加を義務づけている地区がある。いずれの意見も悲鳴

に近いように感じた。地元での管理が困難な町道などについては、行政が管理する時期になったと考えられるかどうか。

答 定本町長

高齢化が進み、作業中のけがも心配される。

来年度から草刈り以外でも地区の行事に係るけがなどについて適用される保険をかける。

行事に参加することで、きずなを深めてもらうことも目的である。高齢化が進み、制度が実情に合わない面も出てきている。

区長会で、今後、協働のまちづくりや活性化事業をどのようにやっていこうかと議論してもらっており、見守っているところだ。

区長会で、高齢化率などを考慮した事業費をつけたらどうかという意見も出ている。



区長協議会で議論を！

質問

かけ地崩壊対策で 災害の未然防止を

まずは調査・
研究したい

答弁



松島 啓 議員

問

8月5日、旭地域を中心に局地的

な豪雨があり、家屋、農地、道路、河川等に甚大な被害が発生した。道路・家屋などの危険箇所は町として把握しているか。

早急な復旧を望むが、災害復旧には多大な予算と時間を要する。災害の未然防止策として急傾斜地の補助事業に当てはまらない地域（民家が点在している地域）には、かけ地崩壊対策事業を町独

自に考えてはどうか。

答

定本町長

本町の地形は急峻な所が多く、町費ですべてに対応はできない。国、県の施策の中で、町が補助できればと考える。

問

全国では、かけ地崩壊対策事業に取り組んでいる自治体が多くある。

金沢市では、補助率2分の1で60万円まで。横浜市は、3分の1で200万円までなど。

まず、町民の安全・安心を最優先して事業実施を。

答

定本町長

まずは、調査・研究したい。

学力向上の対策は

問

県独自の学力テストの結果が7月に公表された。本町の結果に、関係者、町民ともに衝撃を受けた。テストの結果だけで学力は評価できないが、

県平均とかなり差があるのは問題だ。

また、8月に全国学力テストが都道府県別で公表された。本町の結果および今後の学力向上対策は。

答

泉教育長

県の学力テストの結果では、大変ご心配をおかけした。全国学力テストで、小学校は県内の上位だが、中学校は厳しい結果である。

本年度は、外部講師の意見も聞きながら学力向上推進連絡協議会を開催し、授業改革を行っている。また、町独自のテストの実施、みさきテレビの活用、さらに試行的に百ます計算も取り入れ、広く学習習慣の定着を図りたい。

町のスポーツ

振興計画は

問

23年度にスポーツ基本法が制定さ



レベルアップでめざせ国体!!

れ、国のスポーツ基本計画が策定された。

①美咲町スポーツ基本計画の策定は。

②国体後のスポーツ振興をどう考えているのか。

③町内のスポーツ団体への支援策は。

④スポーツイベントに対する考え方は。

④スポーツイベントは、皆さんの要望・意見を聞きながら検討したい。

答

山下生涯学習課長

計画は、美咲町振興計

質問

本気で結婚推進事業の展開は

出合いの場を

積極的につくる

答弁



岡田 壽 議員

問

人口減少、少子化対策には結婚が1番と考える。

8月に「本気で結婚推進事業」が開催された。結果と今後の進め方をどう考えているのか。

答

山本産業観光課長

この事業はNPO法人全国結婚相談センターと仲人協会に業務委託し、結婚希望者の仲介、イベントの企画など行っている。今回、「世話好きさん集まれ」に4人、「親のため

答

定本町長

最近、女性も本気で相手を見つけようと出合いの場に参加していると感じている。出合いが少ないから結婚してない人も多く、出合い、ふれあいの場を積極的に作っていく。

問

ピオーネの輸出

ピオーネ輸出事業の方針は どう立てる

ピオーネの輸出で、現地（香港）の状況や反応と今後の方針



香港でも売られています。「美咲のブドウ」

答

山本産業観光課長

ピオーネの出荷は、7月10日シンガポール向けに100房。8月25日香港向け900房で、9月20日頃まで2〜3回計画している。

ピオーネは外国産に比べて大粒で種なしと大好評であった。今後、価格、流通手段を検証し、来年に備えたい。

答

定本町長

香港では、色にはこだわらないが、酸味がなくとにかく甘いブドウが好まれる。また、シンガポールでは色が黒いものが好まれ、国によって好みの違いを実感している。

香港のスーパーでは、1房3〜4千円で販売されており、美咲町産をPRし、儲かる農業を目指し、輸出を続けていく。

方言を

伝えていこう

問

文化・歴史の伝承を言うなら、言葉（方言）も大切にすべきである。中央町史の編さんも進行中である。方言を教える、伝える環境が大切だ。どのような対応が考えられるか。

答

泉教育長

方言を使った会話は一番心が通じると思う。

三世代同居時代は、自然に伝わっていたが、今は難しい状況だ。地域行事などに子どもたちが参加し、高齢者や異年代の人と話すことが一つの方法。方言に絞って学校で教えることはしていない。

町史では、民俗編の中で、独特な方言の記録がされると思う。町史を活用して、小学校の副読本などにも応用を考えたい。

まちづくりに生かします

議会視察研修

議会では、総務・民生教育・産業建設の各常任委員会が検討を進めている諸課題に対する知識向上を図るため、8月5日～7日に視察・研修を実施した。この内容について報告します。

総務常任委員会

視察研修報告

公共交通のあり方 福祉タクシーとは

(長野県豊丘村)

総務常任委員会では、長野県下伊那郡豊丘村で8月5日、福祉タクシーの先進地視察を行った。

豊丘村は、長野県の南部に位置する人口7,000人の村である。

かつてはデマンドバスの運行をしていたが、不公平感があるのではとの意見があり、数年前から福祉タクシーの運行を開始している。

利用者は、特に便利の悪い山間地域の73歳以上と単身の高齢者など。さらに重度心身障がい者(交通弱者)が利用している。

福祉タクシーのシステムは、登録した住民

にカードを発行。カードを提示した利用者は片道700円の負担で利用できるシステムだ。

たとえば、山間地域から役場まで往復した場合の利用金額は約5,000円程度。このうちの1,400円を利用者が負担。村の負担は3,600円となる。

豊丘村の当初予算は約35億円の予算規模。デマンドシステムを利用してはいた時は、村営バスを含め4,000万円の支出であったが、福祉タクシーに変更した後は2,700万円に減少し、1,300万円の経費削減となった。

本町においても高齢者の交通手段確保が重要な課題となっている。特に旭地域は高齢者世帯が多く、福祉タクシーの導入を早急に検



豊丘村役場にて研修

討する必要がある。中央地域においては、デマンドシステムの採用も一案である。柵原地域では、現在NPO法人のお世話になっているが、道路運

送法の関係もあり、十分な検討が必要と思われる。

今後、本町の公共交通について関係者の意見を聞きながら慎重な協議を行いたい。

民生教育常任委員会

視察研修報告

きめ細かな受診 勸奨と健康指導

(長野県松川町)

民生教育常任委員会

では、長野県松川町で8月6日、健康づくりの推進について視察研修を行った。

松川町は、長野県の南部に位置し、人口は

約1万3,600人、面積は72・9平方キロメートル。

平均寿命日本一の長野県の中で、町村ではトップクラスの平均寿命・健康長寿を誇る町で、医療給付費も県内トップである。

松川町の健康づくりで、特筆すべきことは、

① 保健師、管理栄養士による全戸訪問事業。これは、少ない人員でありながら、徹底して事務事業を効率化し、現場優先の考え方で保健指導など行っている点である。

② 各自治会推薦による健康推進委員。

自治会役員が中心となった組織で、ほとんどが男性で構成されている。

③ 特定健診の受診率が61%という高さ。

④ 健康を考える集会の実施。

⑤ 消防団員を対象と

産業建設常任委員会 視察研修報告

先進的な

ゴミ収集方法

られたのがゴミの減量化およびリサイクルに努めることによる循環型社会の構築。

(岐阜県多治見市)

産業建設常任委員会

の検討課題であるゴミ収集方法についての研修を行うため、8月7日に岐阜県多治見市役

所を視察した。

岐阜県多治見市は、岐阜県の南部に位置する人口11万5,000人の地方都市である。

名古屋市のベッタウンとして発展している街であることから、昭和40年代の後半から郊外型大規模団地の開発による人口の増加に伴ってゴミの急増を招き、ゴミ処理施設の需要やゴミ処理費用が増大していった。

増え続けるゴミの処理に対して、まず考え

られたのがゴミの減量化およびリサイクルに努めることによる循環型社会の構築。

この基本理念を基に実施された施策は

① 市内600カ所にリサイクルステーションを設置。

② 缶・ビン・紙・布などのゴミを細かく20種類に分別しそれぞれのトレイを配置する。

③ 分別されたゴミが正しく配置されているかを市民ボランティアが監視する。

④ 燃やすゴミ、破碎ゴミ、粗大ゴミの3種類はゴミステーションへ。

⑤ 指定ゴミ袋は大・中・小の3種類のみ作製。燃やすゴミだけをを入れる。

⑥ 「ゴミを減らした

人が得をする」という意識を持たせるためゴミ袋の値段は1枚50円とペラボーに高い。

⑦ これらの方法を全地域に取り入れる前にモデル地域を設定した実験を行い綿密な準備を実施する。

⑧ 制度実施に際しては3カ月間職員が現地で指導を行った。本町も資源循環型社会の実現を目指す

として津山圏域資源循環施設組合に参加し新ゴミ処理場の建設を進めている。

問題点として浮かんできるのが「資源ゴミの分別への取り組み」「回収の方法」「住民への周知と協力依頼」などである。

今回視察した多治見市では、条例を制定した

上で「廃棄物減量など推進審議会」を組織し、市民・各種団体・企業・処理業者・学識経験者の各代表から意見を募り、あらゆる視点から毎年審議を重ねることによって住民の意識改革に努めている。

ゴミ処理方法の変革を目前に控えた本町においても現時点からの積極的な取り組みが望まれるところである。



松川町役場にて研修

した健康診断・健康学習会の実施。これらの取り組みは、公民館活動、生涯学習活動が以前から盛んな地域で、住民の学習意識が健康を考えることにつながっており、その結果、高い健診の受診率となり健康寿命、平均寿命の向上、そして医療給付費の抑制へとつながっていると考えられる。

また、長野県が長寿県となっているのは、① 野菜摂取率の高さ

② 高齢者の就業率の高さ

③ 医療機関の連携などだそう。

本町も健診の受診率向上に努力しているが、なかなか成果が出ていない。今後、松川町の取り組みを参考にし

て、さらにきめ細かな受診勧奨、若い世代からの受診勧奨、健康指導、また多くの住民が

参加できる健康を考える会の実施など、取り組んでいくべきである。

多治見市役所にて研修

多治見市役所にて研修

多治見市役所にて研修

多治見市役所にて研修

多治見市役所にて研修



多治見市役所にて研修



町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第17回
3回目に向け頑張ってます！



飯岡花めぐりの会

町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループご連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

平成24年から活動を開始して、今年で2年目を迎えます。

どんな活動をしていますか

年1回6月の第1土、日曜日に開催する「飯岡花めぐり」に今年は、約300人の方に来ていただきました。他に、休耕田を利用した「花ばたけ」作り、土生（はぶ）池の花壇の整備などを行っています。

メンバー構成は

飯岡地区に住む50代から60代の花好きな女性10人で楽しみながら活動しています。

活動を始めたきっかけは

花が好きで自宅でガーデニングを趣味としていた仲間が集まり、自宅の庭を開放して皆さんに見ていただきたいと始めました。

楽しいことは何ですか

お互いに情報交換して自宅のガーデンを充実させるとともに、6月の「花めぐり」に皆さんに喜んで見ていただくことです。

これからの活動は

来年の「飯岡花めぐり」に向けて、個々のガーデン、休耕田の「花ばたけ」を充実させて地域の皆さんに楽しんでもらいたいと考えています。

議会に一言

自慢できる故郷にするために町全体を花いっぱいにする環境をつくってください。

花めぐりで すてきなめぐり逢いと感動を期待します

編集後記

秋の取り入れも終わり、文化祭・スポーツ・お祭りとお祭りのイベントが多く開かれ、楽しい季節を迎えています。議会では第2回議会報告会を全地域5カ所で開催し、131人の方に参加して頂きました。皆様から頂いた貴重なご意見は、今後の議会活動に反映させていただきます。

また、広報委員会では全国町村議会広報研修会に参加し、議会だよりの評価を受けた結果、美咲町は100点中80点という良い評価をいただきました。これからの皆様にも読んでいただける広報作りに頑張ります。
(金谷記)



議会広報編集特別委員会
委員長 松田 英二
副委員長 金谷 高子

片山 喜次
左居 剛
延原 正憲
江原 耕司